

## 「第二期 次世代リーダー養成アカデミー」始まる



平成24年3月23日、JISA会議室で第二期次世代リーダー養成アカデミーの第1回が開催された。参加者は受講者30名(申込33名)、講師及び運営委員等15名、計45名。

本アカデミーは、広報・人材委員会の人材部会・企画WG(座長：小野田祐子 TIS(株)執行役員)により企画・運営され、会員各社の次代を担う人材(経営幹部候補、プロジェクトマネージャ(PM)、高度スペシャリスト等)が、自らの学習とレベルアップを図り、情報共有とコミュニケーションの場(コミュニティ)を形成することを目指している。また、前回と同様、参加者を男女同数にすることにより、女性の高度人材の拡大及び活躍の促進を図ることも目的としている。

形式は、これも前回と同様、業界メンターによる3回の連続講演とディスカッションであり、講師はJISA副会長およびユーザの立場からJUASに務めていただく。

第1回は、島田俊夫JISA副会長・企画委員長((株)シーエーシー 代表取締役会長)の講演「リーダーシップ - 変革期に求められるリーダー像 -」を受け、参加者によるグループディスカッションによりリーダーシップ習得の具体策について検討が行われた。

講演では、島田副会長より各自が自分自身のリーダーシップの型を創っていくことが重要であり、そのためには「たゆまぬ研鑽力」と「強い志、思い」を具備した「ナイスガイ、ナイスガール」となることが基本であると説いた。これら基本を備え、リーダーはさらに3つの力を鍛えていかなければならないとした。すなわち『練る力』『伝える力』『動かす力』の3つの力であり、これらを如何に身につけていくかを自らの知見に基づき話した。変革期は、過去には答えがないこと、作用(変革)には副作用があることを踏まえ、「リーダーは通常の10倍は考え抜くことが絶対に必要だ」と説いた。

その後のグループワークでは、講演にあった「リーダーシップ3つの力」のうちからひとつの力を選び、その力を組織及び個人の中で高めるための施策についてディスカッションし、各グループから発表して意見交換を行った。

今回は、4/20にJUAS顧問の細川泰秀氏をお招きし「ユーザが喜びベンダも喜ぶITサービスを考える」をテーマに開催する。

(手計)